

## 「共生社会かながわ」を市民の手で

「二〇〇一年希望の年記念事業」を開催

本県では、二〇〇一年を「希望の年」と位置付け、「共生社会かながわ」を市民の行動で実現するきっかけとして、「第十回全国ボランティアフェスティバルかながわ」を同年九月に開催し、ボランティア活動の意義や役割について話し合いました。その意欲を継承し、市民活動の交流と新たな展開の道筋をさぐる目的で、去る十月十三日にかながわ県民センター（横浜市神奈川区）で「共生社会と市民活動を考える」希望の年に芽生えた芽を明日に」と題し、記念事業を開催しました（二〇〇一年希望の年記念事業実行委員会、かながわボランティアセンター、かながわ県民活動サポートセンターの共催）。

記念講演は写真家菊地信夫氏（本紙一面写真を撮影）より、十年以上にわたる取材で出会った方々の写真を交え、ご講演いただきました。菊地氏は取材の思い出を語る中で、「いろいろな人がいて当たり前であって、個々を認め合い生きていくことが『共生』だと教えられた」と話され、一人ひとりの大切さと「共生」という言葉の深さを、改めて感じさせられ

ました。

パネルディスカッション「共生社会の実現に向け、市民だからできること」では、現在県内で活躍するボランティアやNPO（特定非営利活動法人）のリーダーから、活動状況と市民活動の意義、課題についてご発言いただきました。

参加者からは、活動への質問や意見が出され、活発な意見交換が交わされました。また「市民の視点と精神を常に忘れることなく、夢を持ち寄り、仲間と協働しながら、社会に参画していくことが大切」とのまとめでは、深く頷く姿も見られ、市民によって創り出す「共生社会」が、確実に芽吹き始めているようすがうかがえるものとなりました。

（かながわボランティアセンター）



パネルディスカッションのようす



## 神奈川県選手団、福島に輝く「ねんりんの輪」

—第15回全国健康福祉祭ふくしま大会（うつくしまねんりんピック2002）で大健闘！—

ふれあいと活力ある長寿社会を実現するため、健康づくりや社会参加への理解を深めることを目的に、全国各地で毎年開催されている「全国健康福祉祭」（通称：ねんりんピック）。本年は、10月19日から22日の4日間にわたり福島県で開催され、本県から14種目、127名の選手団が参加しました。試合当日は激しい雨にみまわれ、屋外競技が一部中止になるなどの影響を受けましたが、選手は日頃の成果を十分に発揮し、本紙9月号の1面でご紹介した飯田ナリ子さんも出場した弓道は、見事チーム優勝を果たすなど大健闘しました。各種目の成績は次のとおりです。（かながわ長寿社会開発センター）

種目	成績
卓球	3位グループで8位入賞（敢闘賞）
テニス	4位トーナメントで1回戦負け（1勝2敗）
ソフトテニス	予選リーグGブロックで4位
ソフトボール	荒天のため試合中止
ゲートボール	予選リーグで2勝1敗（決勝進出ならず）
ペタンク	予選で3敗（決勝進出ならず）
ゴルフ	団体4位（優秀賞）／長野和郎さん（Cブロック3位）、青柳征二さん（Aブロックベストグロス賞）
弓道	優勝
剣道	準々決勝で優勝チーム（福島A）に惜敗、ベスト16（優秀賞）
グラウンドゴルフ	参加346名中、山口輝義さん（54位）、大山三郎さん（169位）、篠崎尊雄さん（225位）、鈴木忠孝さん（251位）、前田致秋さん（293位）、山口敦子さん（298位）
太極拳	4位（優秀賞）
ソフトバレーボール	第2位グループで3位
サッカー	Cブロックで優勝／川島元信さん（優秀選手賞）
社交ダンス	団体戦総合得点14点（上位20位入選ならず）



総合開会式への入場を待つ選手団（上）と太極拳の演武のようす（下）